

明日のために



桑名の多度中生が
ヒノキの間伐に汗
多度山（標高403
m）再生に役立ち
19日、桑名市立多度中
の1年生90人がヒノキ
の間伐に挑戦した。前
日に森林の役割や間伐

の必要性、倒木の仕方
などの話を聞き、今日
は実践。慣れないノコ
ギリやロープの扱いに
苦戦しながら汗を流し
た。
講師は、森林保全活
動をしているNPO法
人「森林の風」（本部

毎 日 新 聞

2009年（平成21年）5月20日（水） 中北勢

三重

間伐に挑む多度中の生徒たち＝桑名市の多度山で



・四日市市）の桜井龍彦さん（60）ら11人と桑名市職員が務めた。4人1組に分かれた生徒たちは、多度山中腹の森林に入り、倒す方向を見定めたりロープ掛けやノコギリの使い方などの指導を受け、樹齢約30年のヒノキの間伐に挑んだ。
切り倒した木は枝払いをし、放置。一部は学校へ運び、クラス表示板やベンチなどの材料に使う。加藤薫君（12）は「木一本倒すのがこんなに大変だとは思わなかった」と話していた。【沢木繁夫】

中 日 新 聞

2009年（平成21年）5月22日（金曜日）

北 勢



間伐体験をする生徒ら＝桑名市の多度山で

ヒノキ林で 間伐を体験

桑名の多度中生
桑名市多度中学校の
1年生90人が、地元
の多度山のヒノキ林で
間伐体験をした。
多度山の現状、山や

森林の役割などを理解
してもらおうと、地元
の人の協力で初めて実
施。森林保全などに取
り組むNPO法人「森
林（もり）の風」（事
務局・四日市市）のメ
ンバー10人と市職員が
講師を務めた。
前日に間伐の重要性
や木の切り方などを学
んだ生徒たちは、ヘル
メットをかぶり森林
へ。
四人1組になり、慣
れない手つきでのこぎ
りを使い、樹齢三十年
ほどのヒノキを切り倒
した。幹の皮むきなど
も体験した。
生徒たちは「大変で
疲れた」「倒れた時は
うれしかった」などと
話していた。間伐した
木の一部は学校で活用
する。（生田貴士）